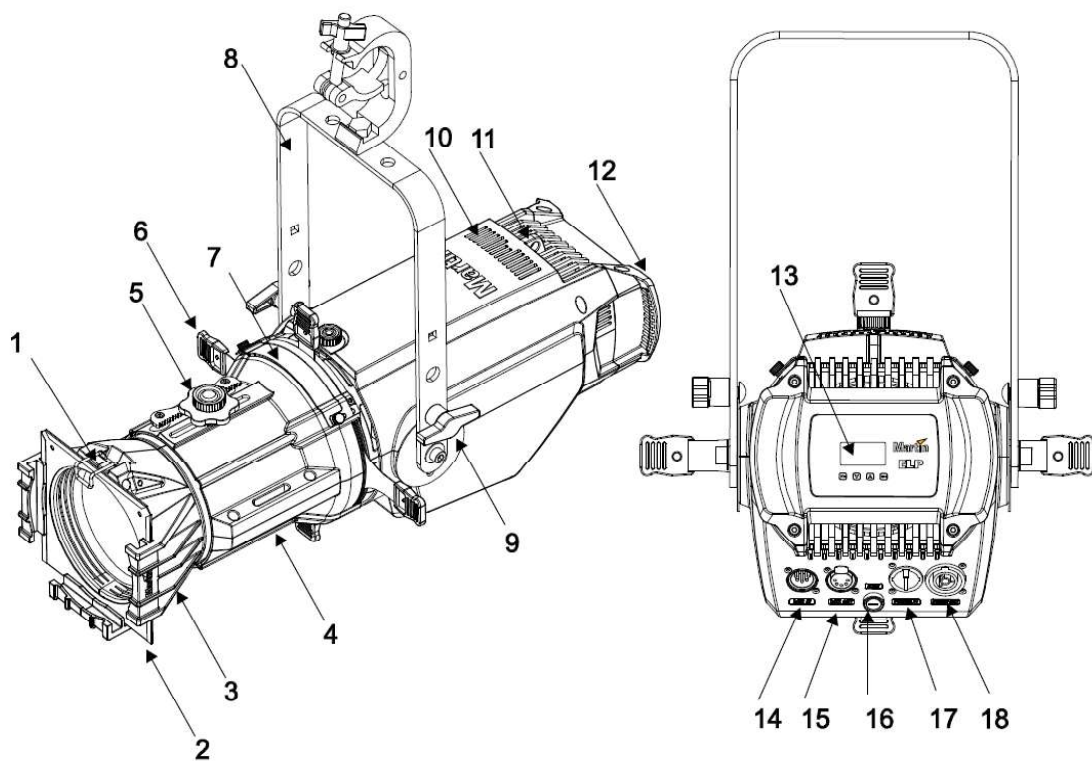


ELP CL WW

取扱説明書



■製品概要



- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1- フィルターフレームリテイニングクリップ | 13- コントロールパネル |
| 2- フィルターフレーム | 14- DMX XLR 5ピン入力 |
| 3- オプティカルレンズチューブ (交換可) | 15- DMX XLR 5ピン出力 |
| 4- アルミレンズチューブハウジング | 16- メインヒューズ |
| 5- ファインフォーカスノブ | 17- 電源入力 |
| 6- ビームシャープシャッターノブ | 18- 電源出力 |
| 7- ゴボアクセサリゲートスライディングカバー | |
| 8- マウンティングブラケット/ヨーク | |
| 9- チルトロックノブ | |
| 10- ヒートシンク開口部 | |
| 11- セーフティワイヤ 取付穴 | |
| 12- ポジション用リアーハンドル | |

目次

■使用上の注意.....	4
■概要.....	6
■取り付け.....	6
■電源.....	7
■データリンク.....	8
■セットアップ.....	8
■エフェクト.....	11
■メンテナンス.....	12
■DMX プロトコル.....	13
■コントロールメニュー.....	15
■トラブルシューティング.....	18
■仕様.....	19

■使用上の注意



警告！

本製品を使用する前に必ず次の説明をよく読み、正しく安全にお使いください。

シンボルについて：安全に関する注意事項は次に示すシンボルによって表示されます。



警告！

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定されます。



LED 光線注意！

この表示は目の障害を引き起こす危険性を警告しています。



警告！

本取扱説明書をよく読み、正しく安全にお使いください。



感電注意！

この表示は、死亡又は重大な障害を引き起こす感電の危険性を警告しています。



発火注意！

この表示を無視して誤った取り扱いをすると火災の原因になる危険性を警告しています。



危険！

この表示は火傷を引き起こす表面高温による危険性を警告しています。



本器具はリスクグループ 3 LED 製品です。光源の出力光を集光するような物を使用して本光源を直視しないで下さい。視力障害の原因になります。

本製品は家庭用器具ではありません。感電、落下、火災の恐れがあります。



本製品を設置する前に必ず本取扱説明書を読み、正しく安全にお使いください。

本取扱説明書に記載のない事項に関しては必ずマーチンプロフェッショナル認定の技術者にお問い合わせください。



感電注意！

- ・ 本機を使用していない場合は必ず主電源を切って下さい。
- ・ 必ずアースを使用してください。
- ・ 使用場所の電源をよく調査し、過負荷と漏電から保護された AC 電源回路を使用してください。
- ・ 通電開始前に、すべての配電経路と使用電材が正しく使用されているかをご確認ください。
- ・ 電源ケーブルやプラグなどに少しでも破損や異常がある場合、または漏電や本体の異常発熱などが見られた場合は使用を取りやめてください。
- ・ 本機を雨や高湿度の蒸気など、水分にさらさないでください。
- ・ 器具のすべてのカバーは取り外さないで下さい。本取扱説明書に記載のない事項に関してはマーチンプロフェッショナル認定の技術者にお問合せ下さい。



火災、火傷注意！



- ・ 外気温が 45℃を超える場所では使用しないでください。
- ・ 本機の外装は 55℃まで達する恐れがあります。5 分程置いてから本機に触ってください。
- ・ 本機はレンガやコンクリートなど不燃性の表面にのみ設置してください。
- ・ 可燃物(布地、木材、紙など)からは、50cm 以上離して設置してください。
- ・ ファンや通気口の周辺は 0.1m 以上のスペースを取り、空気の流動を遮るものを置かないで下さい。

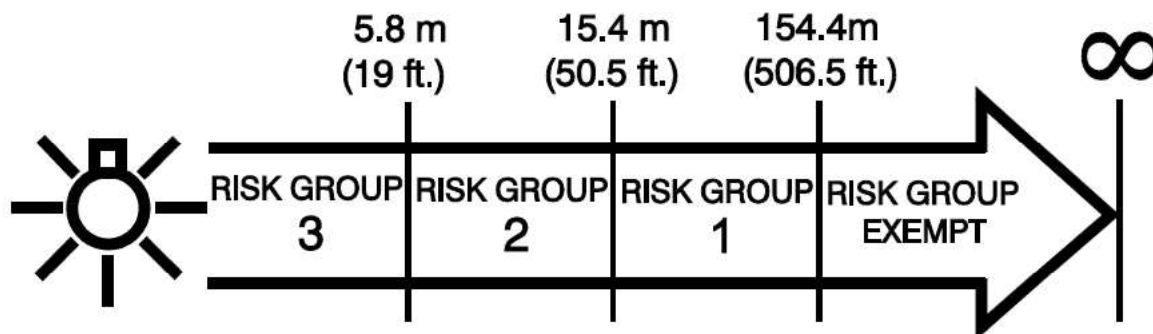
- ・サーモスイッチやヒューズを短絡させないでください。
- ・本取扱説明書に記述されている以外の方法で器具に対して、たとえ Martin 純正のパーツであっても変更を加えないでください。フィルターを塞いだり、レンズ等の光学系を覆ったりしないでください。配光を変えたい場合には、必ず Martin にて承認されたアクセサリーのみを使用してください



目の保護について

本器具は EN 62471 リスクグループ 3 製品です。

- ・光出力部分を直接見ないでください。
- ・稼働中の器具のランプは見ないでください。目に重大な損傷を及ぼす恐れがあります。
- ・LED 光源を、拡大鏡、望遠鏡、双眼鏡やその他同様の光学機器を使用して見ないでください。
- ・器具の突然の発光の際、人に向けない様ご注意ください。電源投入時、DMX 信号受信時、コントロールメニュー使用時など突然に発光する場合があります。
- ・目に対する事故を防ぐため、器具を使用しない場合は常に電源から遮断してください。また、瞳孔が開いた状態で光を見ることを防ぐため、極力明るい場所で作業してください。



安全上・使用上の注意!

- ・本器具を吊りで使用する場合は、吊り下げ金具を使用し、しっかり固定して下さい。
- ・ジェルフレームやゴボホルダーなどすべてのアクセサリーがしっかりと固定されていることを確認してください。
- ・器具設置作業中には直下へのアクセスを制限し、しっかりとした足場から取付、メンテナンス、移動を行ってください。
- ・光学部品やカバーなどの損失または損傷のある場合は器具を使用しないでください。
- ・高所に取り付けた場合、使用されるすべての取付金具、取り付け躯体のすべてにおいて、本体重量の以上の重さに支えられることを確認してください。
- ・本機の稼働中に問題が起こった際は直ちに電源を切り、使用を中止してください。あきらかに損傷がみられる場合は絶対に使用しないでください。

■概要

ELPをお買い上げいただきありがとうございます。

本機は楕円型のプロファイル器具で、260WのRGBAL(レッド、グリーン、ブルー、アンバー、ライム)LEDエンジンのCLタイプとウォームホワイトLEDエンジンのWWタイプがあります。本書は両タイプの取扱説明書です。

■取り付け



通電前に、必ず「使用上の注意」をお読みください。

設置の際の器具の持ち運び、安全性、適合性や設置場所、器具の固定方法などは全て設置者の責任の上行ってください。地域の規則や安全条件に注意し本機の設置、接続を行ってください。設置作業は適正な技術者が行ってください。

本器具は屋内でのみ使用できます。屋外や湿気の多い場所には設置しないでください。本機が適切な冷却ができるよう空気の流れを遮断しないでください。

全ての取り付け金具は本器具を安全に支えることができる十分頑丈なものであることを確認してください。

●平らな場所に設置する場合

本器具は平らで丈夫な場所に任意の角度で設置可能です。

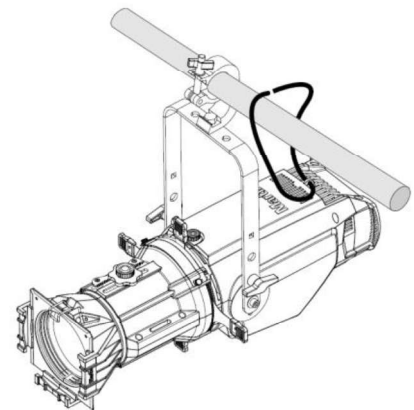
取付前に土台が全器具の10倍の重さに耐えられることを確認して下さい。本器具を落ちる可能性がある場所に独立して置かないでください。

また高い場所に設置する際には、器具の落下を防ぐため、必ず落下防止ワイヤーを使用して固定して下さい。

●トラスに取り付ける場合

本器具はトラス等を使用してどの方向にでも取り付け可能です。

1. 取付け前に、吊るトラス等が全機器の10倍の重さに耐えられることを必ず確認してください。
2. 吊り込み作業を行うエリアの下には立ち入らせない様にして下さい。
3. オメガブラケットが器具に付属します。吊り用のクランプ(右図)をしっかりとオメガブラケットに固定します。取付け金具に損傷がないことを確認し、器具の規格にあったものを使用してください。ボルトはM12、グレード8.8スチールを使用してください。
4. しっかりとした足場を使用し、トラスに器具を架け、クランプをしっかりと閉め込んでください。
5. セーフティワイヤーを架けてください(右図参照)



●セーフティケーブルについて

不慮の事故にそなえるため、必ず定格の重量で認証されたセーフティワイヤーを使用し器具に取り付けてください。

セーフティケーブルを器具の後方にある取付部と固定部に通してください。セーフティケーブル取付部にダメージや変形がみられる場合は器具を使用しないでください。

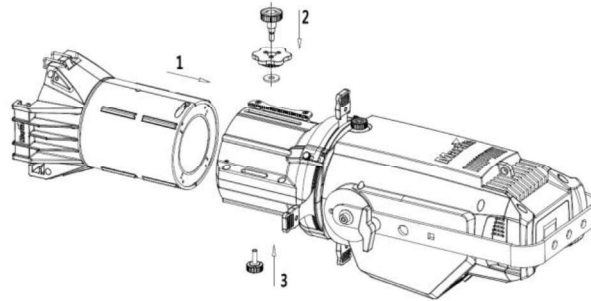
●レンズチューブ取り換え

本機には様々なビームアングルを可能にする4つの異なるレンズチューブがあります。

取り換え方法:

1. 片方の手で落ちないようにレンズアッセンブリーを支えてください。
2. レンズチューブの上と下にあるサムホイールネジを取り外してください。上のネジにはフォーカスノブも取り付けられています。

- す。
3. レンズチューブを前にスライドしてください。
 4. 新しいチューブを器具にスライドしてください。(1)
 5. サムホイールネジを戻します。(2)&(3)(2)の上のネジを戻す際、フォーカスノブが下のギア歯の上にあることを確認してください。
 6. ネジをしっかりと留めてください。



■電源



通電前に、必ず「使用上の注意」をお読みください。

電源障害から保護するために、必ずアースをご使用ください。また電源には必ずアース付きの漏電ブレーカーをご用意ください。

本体の電源を容易に入切できるように器具近くに電源プラグ、コネクタを設置下さい。

電源が入った状態でパソコンコネクタを差し込んだり抜いたりしないで下さい。コネクタターミナルが損傷するおそれがあります。

本機の電源供給には必ず純直電源をご用意ください。その他の電源（ノンディム電源など）をご使用された場合は、保障の対象となりません。

●電源ケーブルとコネクタについて

以下の指示に従ってコネクタを接続して下さい。

ワイヤー色 (US)	ワイヤー色 (EU)	導線	記号
黒	茶	ライブ	L
白	青	ニュートラル	N
緑	黄/緑	アース	⊕ or ⊖

●電圧と周波数の設定

本機は電圧 100～240V 範囲/200～240V 範囲、周波数 50Hz/60Hz のもと、使用可能です。

●電源供給

2台目以降の灯体は出力から入力へデジチェーン上で連続接続でき、1台目の灯体に電源を送ることで、電源供給が可能になります。その際は以下の基準を満たしていなければなりません。また、電源ケーブルは16A以上対応の14AWGもしくは1.25sqケーブルを使用してください。

- ・100Vの場合：電源1系統に対して接続可能な灯体数は最大4台です。
- ・200Vの場合：電源1系統に対して接続可能な灯体数は最大9台です。

■データリンク

DMX 512 データリンクは、DMX 制御を行う際に必要です。

本機はXLR5 ピンのDMX 入出力コネクタを装備しています。

配置：1 ピン=シールド/2 ピン=コールド(-)/3 ピン=ホット(+)

4 ピンと5 ピンは本器具では使用しません。

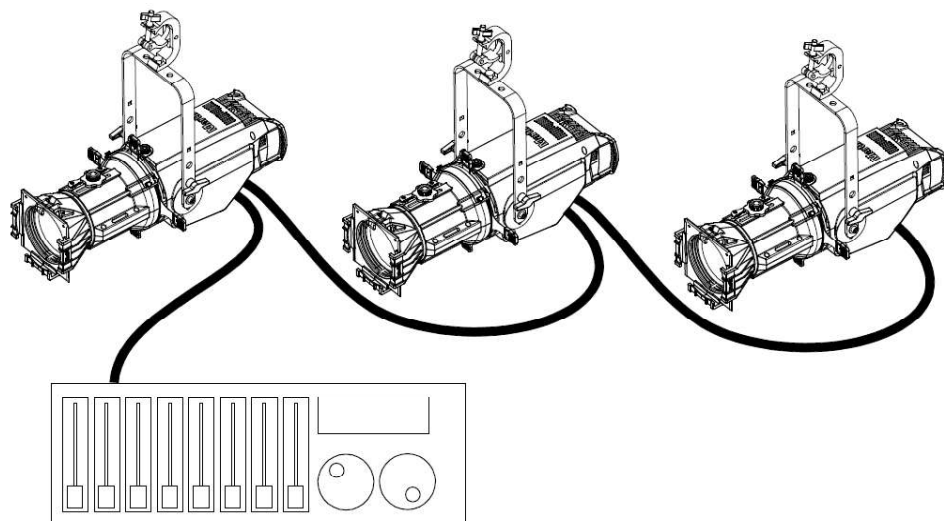
各灯体間の信号線は渡りケーブル（リンク）方式で繋いでください。

ノイズ対策、誤作動防止のためにもアイソレーションディストリビューター（スプリッター）の使用をお勧めします。

ノイズ対策、誤作動防止のためにも終端抵抗（ターミネーション）を最終灯具のDMX 出力コネクタに取り付けてください。

●データリンクの接続方法

1. DMX 制御機器の出力を、本機のおス XLR DMX 入力ソケットに接続します。
2. 複数の機器がある場合、出力から入力へ、数珠つなぎにつながっていきます。
3. DMX リンクの最後の機器には、終端抵抗を取り付けてください。



■セットアップ

●コントロールパネルとメニュー操作

コントロールパネルからDMXアドレス設定や灯体個々の設定等が行えます。詳しくは『コントロールメニュー』のページをご確認ください。

コントロールメニューにアクセスするにはまずMENUボタンを押します。そこからDOWN/UPボタンでオプションを選択し、ENTERで決定します。元のメニューに戻る場合やメニューから出る場合は再度MENUボタンを押して下さい。

DMXが存在しない場合はディスプレイが点滅します。

●ファストフォーカスモード

DMX信号無しでもフォーカス用に簡単に点灯ができます。

コントロールパネルのFast Focus Modeから簡単にフォーカスを合わせることができます。ENTERボタンを5秒間押しするとフォーカスの設定ができるように器具は60秒間フルの明るさを照射し、60秒後に通常に戻ります。

●DMXアドレス設定

DMXアドレスの設定方法：

1. DMX SETUPを選択し、ENTERを押す。
2. DMX ADDRESSを選択しENTERを押す。
3. UP/DOWNボタンで新しいDMXアドレスを選択。
4. アドレス設定後、ENTERを押して決定。(MENUを押して変更なしに終了することもできます。)

●DMXチャンネルモード

DMX制御モードCLの場合、

- 1チャンネル - ディマーのみ
 - 10チャンネル - 8ビットコントロール(デフォルト)
 - 17チャンネル - 16ビットコントロール
- のチャンネルモードから選択可能です。

DMX制御モードはWWの場合、

- 1チャンネル - ディマーのみ
 - 2チャンネル - 8ビットコントロール
 - 4チャンネル - 16ビットコントロール(デフォルト)
- のチャンネルモードから選択可能です。

DMXチャンネルモードの設定方法：

1. コントロールメニューからDMX MODEを選択し、ENTERを押す。
2. UP/DOWNボタンで使用するDMXチャンネルモードを選択。
3. モード選択後、ENTERを押して決定。(MENUを押して変更なしに終了することもできます。)

●スタンドアロンモード

1灯のマスター灯体から複数の灯体をDMX制御なしでコントロールすることができます。

●ディマーカーブ

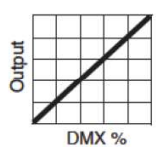
4種類の中からディマーカーブを設定することができます。

DIMMER 1: LINEAR

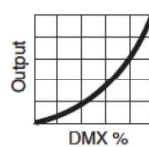
DIMMER 2: SQUARE LAW

DIMMER 3: INVERSE SQUARE LAW

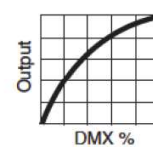
DIMMER 4: S-CURVE



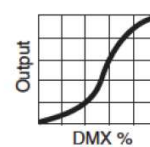
Optically linear



Square law



Inverse square law



S-curve

ディマーカーブの設定方法：

1. PERSONALITYメニューからDIMMER CURVEを選択し、ENTERを押す。
2. UP/DOWNボタンでディマーカーブを選択。
3. モード設定後、ENTERを押して決定。(MENUを押して変更なしに終了することもできます。)

●PWM周波数

シャッタースピードの速いTVカメラなどを回している際フリッカーが起こることがあり、器具のPWM周波数を設定することができます。600Hzまたは1200Hz(デフォルト)

●ノーデータモード

DMX信号が切れた際の灯体の動作を設定します。

設定方法：

1. PERSONALITYメニューからNO DATA MODEを選択しENTERを押します。
2. UP/DOWNボタンを使ってDMX信号が切り離された時の反応を選択します。
- BLACKOUT を選択：出力された明かりはブラックアウトします。

- HOLDを選択：出力された明かりは現在の状態をキープします。

3. 選択後、ENTERを押して決定。(MENUを押して変更なしに終了することもできます。)

●クーリングモード

クーリングファンのスピードを設定することができます。

クーリングモードの設定方法：

1. PERSONALITYメニューからCOOLING MODEを選択しENTERを押します。

2. UP/DOWNボタンで選択します：

REG FAN 灯体の温度によってファンスピードを制御します。

FULL 常にフルスピードでファンが稼働します。

LOW 常にロースピードでファンが稼働します。

3. ENTERを押して決定します。

●ディスプレイ

ディスプレイのパラメーターを設定することができます。

設定方法：

1. PERSONALITYメニューからDISPLAYを選択し、ENTERを押します。

2. UP/DOWNボタンを使用して選択します：

・ DISPLAY SLEEP- ディスプレイのスリープ時間をON(常時点灯), 2MINUTES, 5MINUTES, 10MINUTESから設定します。

・ DISPLAY ROTATION- ディスプレイの向きをNOMAL(ノーマル), ROTATE 180(180° 回転)から設定します。

・ DISPLAY INTENSITY- 10%-100%でインテンシティーを設定します。デフォルトは100%です。

3. ENTERを押して決定します。

●工場出荷時デフォルト設定

灯体を工場出荷のデフォルト状態に設定する方法：

1. DEFAULT SETTINGSを選択し、ENTERを押して決定。

2. FACTORY DEFAULTがディスプレイに表示されるのでもう一度ENTERを押します。

3. UP/DOWNボタンでNO(キャンセル)またはYES(工場出荷デフォルトへ設定)を選択します。

4. ENTERを押して決定します。(MENUを押して変更なしに終了することもできます。)

●フィクスチャーテスト

灯体のLED発光に対するセルフテストシーケンスを行います。LEDテスト、ディマーテスト、ストロボテストシーケンスを開始します。

●フィクスチャー情報

灯体の様々な情報を確認することができます。

●DMX値

現在のDMX値を確認することができます。

確認方法：

1. DMX LIVEを選択し、ENTERを押します。

2. UP/DOWNボタンを使って、値を確認したい機能を選択します。

●リセット

リセットの設定方法：

1. MANUAL CONTROLへ行き、ENTERを押します。

2. UP/DOWNボタンでRESETを選択しENTERを押します。YESを選択後、ENTERを押しリセットを実行します。

●値の設定

1. MANUAL CONTROLメニューへ行き、ENTERを押します。
2. UP/DOWNボタンで制御したい機能を選択します。
3. 機能を選択後ENTERを押し、UP/DOWNボタンで0-255の値を選択します。
4. MENUを押して戻り、別の機能を選択します。

●明るさのキャリブレーション設定

SERVICEメニューからCALIBRATIONを選択し灯体の明るさを調整することができます。

工場出荷時にすべてキャリブレーションされていますが、LEDの発光量は時間と共に減少します。新しい器具と古い器具の明るさを統一する際に最適です。

■エフェクト

全てエフェクトのリストとDMXの値は「DMXプロトコル」を参照して下さい。

●ディマー

16ビットコントロールを使用して、インテンシティーは0-100%間で調整することができます。

CLの場合：10Chモードでは8ビットコントロールで、1Chモードではディマーのみです。

WWの場合：1Chと2Chモードでは8ビットコントロールで、1Chモードではディマーのみです。

●ストロボ

エレクトロニックシャッターではインスタントオープン、ブラックアウトと、1秒間に12フラッシュするランダム、バリエーションスピードフラッシュ、そしてパルスエフェクトが可能です。

●CTC (CLのみ)

16ビットコントロールで、灯体の色温度を2000k-10000Kまで設定することができます。CTCが有効の場合カラーコントロールチャンネルは使用されません。

●カラーミックス (CLのみ)

16ビットコントロールで、レッド、グリーン、ブルー、ライム、アンバーの各色を独立制御することができます。

●カラーシーン (CLのみ)

固定の色温度とカラープリセットから色を選択することができます。カラーシーンが有効の場合、カラーミックスチャンネルは使用されません。

●マニュアルフォーカス

本機にはFine Focusと呼ばれるレンズチューブの上にあるフォーカスノブを使って簡単に小さなフォーカス調整をすることができるシステムがあります。レンズチューブの上下にあるサムホイールボルトを緩め、フォーカスノブを回しながらレンズをチューブ内に押し引きしてスライドします。サムホイールボルトを締め、フォーカスを維持します。

●マニュアルビームシェーピングシャッター

本機には4枚のマニュアルビームシェーピングシャッターがあります。

●ゴボとアイリスの使用

本機のゴボ/アクセサリゲートではスタンダードのA & Bサイズゴボホルダー、またはアイリスを使用することができます。ゲートには光の漏れを防ぐためと、ゴボホルダーを保持するためにスライディングカバーがついています。カバーを開けるには、カバーの端にある2つのサムネジを緩め、レンズの方向にスライドさせます。ゴボホルダーやアクセサリが装着されている場合はカバーをスライドバックさせ、サムネジを締めることによりゴボホルダーを保持します。

●カラーフィルターの使用

カラーフィルターフレームを使用することにより、カラーコレクションやディフュージョンフィルターを器具の前に付け加えることができます。セキュアリングクリップを片方に押しつけてリリースします。装着後カラーフィルターフレームの落下を防ぐためにセキュアリングクリップが元の位置に戻されていることを確認してください。

■メンテナンス



- ◎ お手入れの前に必ず「使用上のご注意」をお読み下さい。
- ◎ ケーブルの接続作業又は本体カバーを開ける際は必ず灯体の電源を切って下さい。
- ◎ 適切なパフォーマンス及び故障のリスクを減らすため、定期的にメンテナンスを行って下さい。
埃などが多く付着するとオーバーヒートの原因となり器具に損害を与えます。不適切なクリーニング及びメンテナンスが原因の故障は保証対象になりませんのでご注意下さい。
- ◎ メンテナンスは専門技術者にお任せ下さい。本取扱説明書に記載のない事項に関しては必ずマーチン販売代理店にお問合せ下さい。

●クリーニング

最大限に光の出力をするために光学レンズの外側の清掃は定期的に行ってください。器具の清掃時期に関しては器具の使用頻度によります。頻繁に清掃が必要となってくる環境要因は下記の通りです。

- ・スモークマシーンの使用
- ・高い気流速度
- ・タバコの煙
- ・浮遊粉塵(ステージや建築構造、屋外使用によるほこり)

上記の内容にひとつでもあてはまる場合は器具の起動時間の始めの100時間程度で清掃が必要か確認してください。

清掃の際は清潔な明るい場所で行ってください。表面を傷つける恐れがあるので、溶剤や研磨剤が入ったものは使用しないでください。

灯体のクリーニング方法：

1. 電源を切り器具を十分に冷却するために10分程おいてください。
2. 器具の外側からバキュームでほこりを取り除いてください。ヘッドの後ろとベースのサイドの通気口は低プレッシャーのエアークンプレッサーを使用してください。
3. レンズの清掃は柔らかい清潔なクロスを洗浄液で湿らせてふき取ってください。表面を強くこすらないでください。粒子はそっと繰り返し押さえるようにふき取ってください。柔らかい清潔なクロスまたは低プレッシャーのエアークンプレッサーで乾かしてください。残留物は無香料のティッシュまたはガラスクリーナーや蒸留水で湿らせた綿棒を使用して取り除いてください。レンズ後方の清掃の際はにレンズチューブを取り外してください。
4. 完全に乾いていることを確認してから電源を入れてください。

●ヒューズの交換

もし灯体が完全に動かなくなってしまった場合、メインヒューズ F1 が溶断していて交換が必要という事が考えられます。このヒューズはコネクションパネルの主電力出力ソケットの隣にあるヒューズホルダーの中にあります（「製品概要」を参照）。

ヒューズの交換方法：

1. 灯体の電源を切り、最低10分ほど冷まします。
2. ヒューズホルダーのキャップを外し、ヒューズを取り出します。同じ型と規格のヒューズと交換して下さい。
3. 電源を入れなおす前に、ヒューズホルダーのキャップを再度取り付けて下さい。
4. メンテナンス、修理を行ってください。

本器具内には使用者がメンテナンスできるパーツは一切ありません、構造部分を開けないでください。

ご自身での修理は絶対に行わないでください。器具の損傷、故障の原因となり、保証の対象外となります。器具の修理は必ずMartinの技術者に依頼してください。

■DMXプロトコル

CL

チャンネル		値	機能		
1CH	10CH			17CH	
/	1	1	シャッター		
			000-009	ブラックアウト	
			010-019	オープン	
			020-089	ストロボ (遅→速)	
			090-099	オープン	
			100-169	パルスエフェクト	
			170-179	オープン	
			180-249	ランダムストロボエフェクト (遅→速)	
250-255	オープン				
1	2	2	0-255	ディマー 0-100%	
/	/	3	0-255	ディマー ファイン	
		3	0-255	ディマーフェードタイム	
		4	0-255	CTC 2000K – 10000K	
		6	0-255	CTC ファイン	
		5	0-255	レッド 0-100%	
		8	0-255	レッド ファイン	
		6	0-255	グリーン 0-100%	
		10	0-255	グリーン ファイン	
		7	0-255	ブルー 0-100%	
		12	0-255	ブルー ファイン	
		8	0-255	ライム 0-100%	
		14	0-255	ライム ファイン	
		9	0-255	アンバー 0-100%	
		16	0-255	アンバー ファイン	
		/	10	17	カラーシーン
					0-10
11-19	2000K-2700K				
20-28	2700K-3200K				
29-37	3200K-4200K				
38-46	4200K-5600K				
47-55	5600K-8000K				
56-65	8000K-10,000K				
66-74	ライトピンク				
75-84	パールアンバーゴールド				
85-93	イエロー				
94-103	ディープストロー				
104-112	ディープアンバー				
113-122	オレンジ				
123-131	プライマリーレッド				
132-141	ミディアムピンク				
142-150	ダークピンク				

			151-160	マゼンタ
			161-169	ミディアムパープル
			170-179	ダークラベンダー
			180-188	ディープパープル
			189-198	スカイブルー
			199-207	ライトブルー
			208-217	ミディアムブルー
			218-226	ディープブルー
			227-236	ブルーグリーン
			237-245	モスグリーン
			246-255	プライマリーグリーン

WW

チャンネル			値	機能
1CH	2CH	4CH		
1	1	1	0-255	ディマー 0-100%
		2	0-255	ディマー ファイン
		3		シャッター
			000-031	ブラックアウト
			032-063	オープン
			064-095	ストロボ (遅→速)
			096-127	オープン
			128-159	パルスエフェクト
			160-191	オープン
			192-223	ランダムパルスエフェクト
		224-255	オープン	
	2	4	0-255	ディマーフェードタイム

■コントロールメニュー

CL

トップメニュー	メニューレベル 2	メニューレベル 3	メニューレベル 4	内容(デフォルト太字)	
DMX Setup Personality	DMX Addr	1 - XXX		DMX アドレス (デフォルトアドレス = 1)	
	DMX Mode	1/ 10 /17		DMX コントロールモード	
	Stand-Alone	Master			マスター/スレーブオペレーションで灯体はマスターとして動作 DMX/RDM シグナルはマスター/スレーブオペレーションを無効にする
		Slave			マスター/スレーブオペレーションで灯体はマスターをコピーする DMX/RDM シグナルはマスター/スレーブオペレーションを無効にする
	Quality	HI Quality			高演色モード、演色性を優先
		HI Output			高出力モード、明るさを優先
	Dim Curve	Linear			オプティカリリーニアードィマーカーブ
		Square			スクエアローディマーカーブ
		Inv Sq			インバーススクエアローカーブ
		S-curve			S カーブ
	PWM Freq	600- 1200 Hz			PWM 周波数設定
	No Data	Blackout			DMX 信号が切れた場合ブラックアウト
		Hold			DMX 信号が切れた場合最後に受信した値を維持
	Cool mode	Reg fan			出力優先ファンモード
		Full			ファンは器具の温度によってフルまたはロース
		Low			ピードになる
	Display	Sleep		On	ディスプレイ常時オン
				2 min	ディスプレイ2 分後にスリープモードへ
				5 min	ディスプレイ5 分後にスリープモードへ
				10 min	ディスプレイ10 分後にスリープモードへ
Rotation			Normal	ディスプレイ方向 ノーマル	
			Rotate 180	180°回転	
Intensity			10-100	ディスプレイインテンシティー% (デフォルト= 100)	
Temp Unit			°C	温度表示 °C	
		°F	温度表示 °F		
Default Set	Fac Default	No		工場出荷時のデフォルトへすべての設定を戻す	
		Yes			
Fixture test	Test LEDs			LED のテストシーケンス ENTER を押してテストを再開 MENU を押してテストから出る	
Information	Power On	0 - XXXX h		製造後から灯体合計稼働時間	
	LED Hours	0 - XXXX h		製造後から LED 合計点灯時間	
	SW Version	XX.XX.XX		現在の SW バージョン	
	Fixture ID	0 - 9999		灯体 ID ナンバー	

	RDM UID	XXXXXXXXXX XX		灯体 RDM ID
	Temperature	LED / CPU Temp		全ての PCB と LED の温度を°Cで表示
DMX Live	Dimmer, Shutter etc	0 - 255 ...		各 DMX チャンネルが受信した値
Show	Set Scene	1-20		スタンドアローンシーンの数
	Scene Color	1 - last scene	Red	0-255
			Green	0-255
			Blue	0-255
			Lime	0-255
			Amber	0-255
Fade Time	0-120 secs (3 secs)		シーンの間のトランジション時間	
Hold Time	0- 600 secs (3 secs)		シーンの長さ	
Manual control	Reset	No		灯体リセット
		Yes		
Manual control	Dimmer, Dimmer Fine, Dimmer Fade, CTC, Red, Green, Blue, Lime, Amber, Color Scene	0-255		10 チャンネル全てのマニュアルコントロール
	Service	Calibration	Dimmer	0-100 %
Red, Green, Blue, Lime, Amber			-128 -> 127	個々のカラーのキャリブレーション調整
Load Def			Load	工場出荷時のデフォルトキャリブレーション設定を読み込む
Save Def			Save	現在のキャリブレーション設定を工場出荷時のデフォルト設定へ変更する

WW

トップメニュー	メニューレベル 2	メニューレベル 3	メニューレベル 4	内容(太字はデフォルト)
DMX Setup Personality	DMX Addr	1 - XXX		DMX アドレス (デフォルトアドレス = 1)
	DMX Mode	1/2/4 ch		DMX コントロールモード
	Stand-Alone	Master		マスター/スレーブオペレーションで灯体はマスターとして動作 DMX/RDM シグナルはマスター/スレーブオペレーションを無効にする

		Slave		マスター/スレーブオペレーションで灯体はマスターをコピーする DMX/RDM シグナルはマスター/スレーブオペレーションを無効にする
	Dim Curve	Linear		オプティカリーリニアードイマーカーブ
		Square		スクエアローディマーカーブ
		Inv Sq		インバーススクエアローカーブ
		S-Curve		Sカーブ
	PWM Freq	600-1200Hz		
	No Data	Blackout		データ接続を失った場合ブラックアウト
		Hold		データ接続を失った場合最後に受信した値をホールド
	Cool Mode	Reg fan		出力優先ファンモード
		Full		ファンは器具の温度によってフルまたはロー
		Low		スピードになる
	Display	Sleep	On	ディスプレイ常時オン
			2 min	ディスプレイ2分後にスリープモードへ
			5 min	ディスプレイ5分後にスリープモードへ
			10 min	ディスプレイ10分後にスリープモードへ
		Rotation	Normal	ディスプレイ方向 ノーマル
			Rotate 180	180°回転
		Intensity	10-100	ディスプレイインテンシティー% (デフォルト= 100)
		Temp Unit	°C	温度表示 °C
	°F		温度表示 °F	
Default settings	Fac Default	No		工場出荷時のデフォルトへすべての設定を戻す
		Yes		
Fixture test	Test LEDs			LED のテストシークエンス ENTER を押してテストを再開 MENU を押してテストから出る
Information	Power On	0 - XXXX h		製造後から灯体合計稼働時間
	LED Hours	0 - XXXX h		製造後から LED 合計点灯時間
	SW Version	XX.XX.XX		現在の SW バージョン
	Fixture ID	0 - 9999		灯体 ID ナンバー
	RDM UID	XXXXXXXXXX XX		灯体 RDM ID
	Temperature	LED / CPU Temp		全ての PCB と LED の温度を°Cで表示
DMX Live	Dimmer, Shutter etc ...	0 - 255 ...		各 DMX チャンネルが受信した値
Show	Set Scene	1-20		スタンドアローンシーンの数
	Scene Color	1 - last scene	White	0-255
	Fade Time	0-120 secs (3 secs)		シーンの間のトランジション時間
	Hold Time	0- 600 secs (3 secs)		シーンの長さ

Manual Ctrl	Reset	No		灯体リセット
		Yes		
	Dimmer, Dimmer Fine, Shutter, Dimmer Fade	0-255		4 チャンネル全てのマニュアルコントロール
Service	Calibration	Dimmer	0-100 %	Intensity master, defining maximum intensity

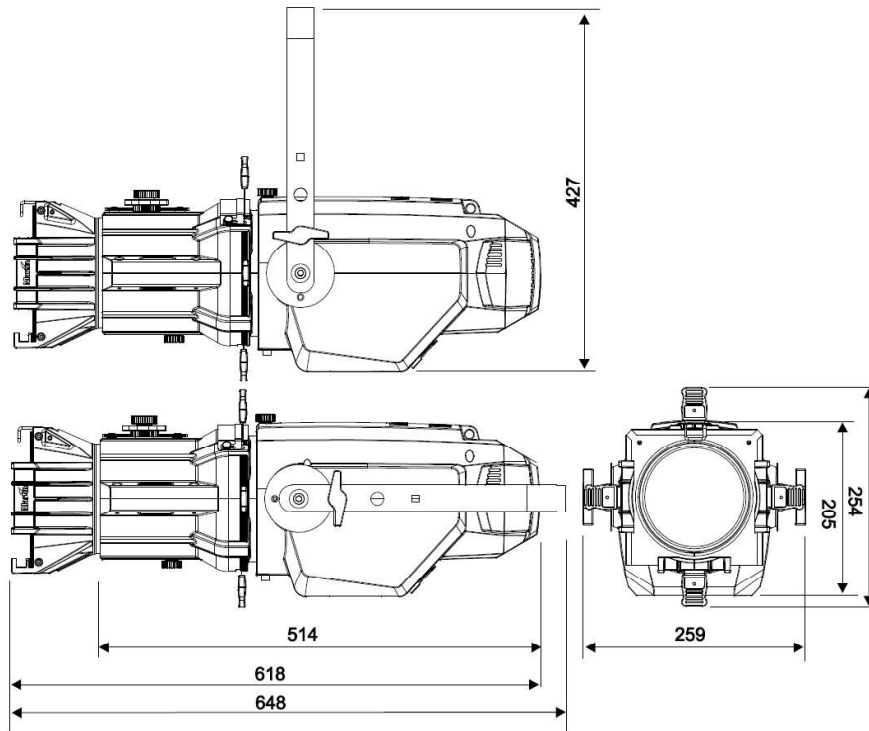
■ トラブルシューティング

問題	原因	解決方法
灯体が点灯しない	シャッターが中に入り込んで光を遮断している。 ヒューズ溶断や接続不良尾、ケーブルダメージなどの電源の問題。	4 つのシャッターブレードを引き出してください。 主電源が接続されて灯体に電源を供給していることを確認してください。 ボタンを押した時にディスプレイが点灯することを確認してください。 全ての電源接続、ケーブルを確認してください。 ヒューズを交換してください。
灯体が DMX 信号に反応しない	配線や接続、ケーブルの損傷または不正確な DMX アドレス、高圧電気設備の近接が影響による DMX ネットワークの問題。	DMX が受信されていないことを示す灯体のディスプレイがフラッシングしているか確認してください。もしフラッシングしていれば、物理的なネットワークが完全か全ての DMX ケーブルと接続部を確認してください。 DMX リンクが終結されていることを確認してください。 DMX リンクのコンポーネント全てが、DMX 規格に準拠しているか確認してください。 灯体に DMX 制御デバイスと同じ DMX アドレスが設定されているか確認してください。 DMX リンク上の次の灯体のコネクタのピンを確認してください。 他の DMX コントローラーで反応するかどうか試してみてください。 シールドされていない高圧電気設備が近くにあれば、離すかリンクをシールドしてみてください。

■仕様

寸法、重量

長さ×幅×高さ.....648×259×254mm
 重量.....7.7kg



エフェクト

カラーミキシング(CLのみ).....RGBLA
 プリセットカラー(CLのみ).....26色プリセット
 エレクトロニックディマー.....0-100%, ディマーカーブオプション4種類
 ストロボ、パルスエフェクト.....バリエアブルスピード&アクション、ランダムストロボ
 エレクトロニックシャッター.....インスタントオープン、ブラックアウト

制御 & プログラム

制御方法.....DMX、スタンドアローンシーン
 DMX チャンネル.....CL: 1ch, 10ch, 17ch, WW: 1ch, 2ch, 4ch
 色温度制御.....CL: 2000-10000K, WW: 3000K
 PWM.....600-1200Hz
 アドレス設定方法.....OLED ディスプレイコントロールパネル
 スタンドアローンプログラミング.....OLED ディスプレイコントロールパネル
 制御プロトコル.....USITT DMX512/1990

光源

光源.....CL: RGBAL Luxeon Rebel LED×91個, WW: 3W ウォームホワイト LED×91個
(レッド×19個, グリーン×24個, ブルー×12個, ライム×24個, アンバー×12個)
 CRI (CL).....90, 6000K で 5900 ルーメン (ハイクオリティモード)
 CRI (CL).....85, 5500K で 6900 ルーメン (高出力モード)
 CRI (WW).....97, 3000K で 7000 ルーメン
 レンズチューブオプション.....19°, 26°, 36° & 50°
 ゴボサイズ.....A サイズ, 100 mm OD, 75 mm イメージ
 ゴボサイズ.....B サイズ, 86 mm OD, 64.5 mm イメージ
 カラーフレームサイズ.....159 x 159mm
 LED 寿命.....30,000 時間(>70%出力)

構造

本体色.....ブラック
ハウジング.....ダイカストアルミニウム
保護等級.....IP20

設置

マウンティング位置.....調節可能ブラケット
設置方向.....任意
設置場所.....屋内のみ

接続

電源入出力部.....パワコン TRUE 1
DMX/RDM データ入出力.....5 ピン XLR

電源

AC 電源.....100-240V、50/60Hz
消費電力.....270W

最大消費電力

110 V, 60 Hz.....2.4 A, 270 W
230 V, 50 Hz.....1.1A, 260 W
標準電圧で全ての LED 全点灯時の計測値。誤差約 $\pm 10\%$ 。

温度

冷却.....強制冷却
最高許容周囲温度.....40°C
最低許容周囲温度.....0°C
総放熱量($\pm 10\%$, フル出力、フルホワイト).....1000 BTU/hr

付属品

マウンティングブラケット

品番

Martin ELP CL (ボディのみ) in cardboard box..... P/N 9045107780
Martin ELP WW (ボディのみ) in cardboard box..... P/N 9045107781
Martin ELP Lens Tube: 19° in cardboard box..... P/N 9045107782
Martin ELP Lens Tube: 26° in cardboard box..... P/N 9045107783
Martin ELP Lens Tube: 36° in cardboard box..... P/N 9045107784
Martin ELP Lens Tube: 50° in cardboard box..... P/N 9045107785

製品改良のため製品仕様及び取扱説明書の記載内容は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
製品及び取扱説明書に万一御不明な点や誤り、記載漏れ等お気づきの点がございましたら下記連絡先までご連絡ください。

マーチン プロフェッショナル ジャパン 株式会社

〒151-0064 東京都 渋谷区 上原 2-30-1 K・STARビル1F

Tel: 03-6407-2581 / Fax: 03-6407-2583

www.martinjp.com / sales@martinjp.com